

# 日本海側での津波対策の強化、国に働きかけを



市議会災害対策特別委員会が、15日開催されました。今回は先に決められた上越市地域防災計画津波災害対策編、上越市水防計画、ハザードマップ等についての報告と質疑が行われました。

このうち、津波対策では、日本共産党議員団の上野議員が、「ハザードマップ等を見た市民は、津波はたいしたことはないと思ってしまう心配があるのではないかと指摘し、市の見解を求めました。

これに対して宮崎防災危機管理部長は、「エリアに入っていないから安全というわけではない。あくまでひとつの想定に基づくシミュレーションの結果だ。マップに



は想定を超える津波があるということも書いている」と答えました。

また、上野議員は、「国は人口密度などで地震、津波研究地域の優先度を決めているようだ。しかし、原発は日本海側に3分の2が集中している。日本海側に研究予算が回らないということにならないか心配だ。安易な考えで研究費用を抑えるようなことはしてほしくない。国や県に対して徹底調査を働きかけてほしい」と訴えました。

宮崎部長は、「災害は私どもが経験したもので終わると思っていない。国の方も認識を持っていると思うが、働きかけていきたい」と答えました。

## 特別委員会設置などで議論はじまる …折り返し点を迎える市議会

市議会は、今月末で任期の中間点となります。各常任委員会や特別委員会では、調査・提言のまとめの作業に入っています。中には、すでに作業を終え、中間報告を議長に提出しているところもあります。総務常任委員会は、「老朽危険家屋をなくすための条例(案)」をまとめ、滝澤議長に報告しました。

市議会人事も改選期を迎えます。来月22日予定の臨時議会を前に、調整のための各派代表者会議が連続して開催されています。

最大の課題は議長をどうするかです。これまで進めてきた議会改革をどう発展させていくか、民主的な運営を

前進させるには誰がふさわしいかといった視点で、十分な議論と検討が必要です。日本共産党議員団では、民主的な運営を貫くことなどを条件に、共同することも視野に入れて検討を始めています。

15日に開催された各派代表者会議では、今の時点でどのような特別委員会の設置が必要かについて、各派がそれぞれ提案し、意見を交換しました。その結果、新幹線・並行在来線対策特別委員会、災害対策特別委員会は継続、他の中山間地対策特別委員会、中心市街地活性化特別委員会は廃止することになりました。新たに設置する特別委員会は、これからの議論となります。



### 市内各地の桜

#### 見事に咲く

いま、市内の桜は真つ盛りです。議員団のメンバーも各地を訪れ、桜を見物しながら、市民のみなさんと交流させてもらっています。天候にも恵まれ、花の付き具合もこれまでにないものではないでしょうか。

写真は頸城区百間町にある栄恩寺のしだれ桜です。朝の人の少ない時間帯に撮りました。ここは夜になると、ライトアップされます。見事です。

### 橋爪団長の5冊目の随想集 「背中かき」が好評です

橋爪議員団長の5冊目の随想集、「背中かき」(北越出版、税込1,000円)が、4月1日に発刊されました。

今回の本には、家族や親戚、自然のことや、地域づくりで頑張っている集落のことなどが温かい目で書かれています。市内の主な書店だけでなく、議員団でもあつ



かっています。ぜひご一読ください。

### 日本共産党上越市議員団ニュース

No.406 2014年4月20日

連絡先  
橋爪 法一 090-5392-1961 (吉川区代石)  
上野 公悦 090-7260-9407 (頸城区中柳町)  
平良木 哲也 090-1808-6919 (上中田)